

令和7年1月吉日

会員・賛助会員各位

近畿電子部品卸商組合
理事長 江見佳之
教育研修委員会
委員長 坂上 礼

近畿電子部品卸商組合 視察研修会のご案内

拝啓

寒冷の候、貴社ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、近畿電子部品卸商組合の教育研修委員会主催視察研修会の一環として、この度下記の通りカタシモワイナリー見学を開催することとなりました。

何かとご多用のところ恐縮に存じますが、万障お繰り合わせの上、ご参加下さいます様お願い申し上げます。

敬具

記

- 1、 日時 令和7年3月19日（水）
- 2、 見学場所 カタシモワイナリー（大阪府柏原市太平寺2丁目9番14号）
- 3、 集合場所 近鉄大阪線「安堂駅」東出口（ロータリー前）10時45分
もしくはカタシモワインフード直接 11時00分
- 4、 内容 ランチ付きカタシモワイナリー工場・畑等見学、及び経営セミナー
ランチは食事に合わせたペアリングワイン付きフレンチを用意
11時00分～工場・ワイン畑見学
カタシモワインフード株式会社
代表取締役 高井 利洋様 経営セミナー
12時45分～食事予定
14時45分～カタシモワイナリー直売所
15時30分 現地解散
- 5、 会費 お一人様1万円
(今回、KEP教育研修委員会の予算から2千円を各自に補填させて頂きますので、実質1万2千円の内容となります。)
- 6、 定員 24名先着順とさせて頂きます。(会食場所の都合により)

注意事項

ランチではアルコールの提供がございます。アルコール摂取される方に関して、お車での訪問は、くれぐれも厳禁とさせていただきます。

山の畑を御案内いたしますので、歩きやすいお足元でお願い致します。

<カタシモワイナリーの概要>

カタシモワイナリーのある柏原市は大阪随一のブドウの産地で、太平寺地区は聖武天皇が東大寺大仏（盧舎那仏）造立を思い立つきっかけとなった智識寺があった場所です。ブドウ農家古民家が立ち並び歴史的風情を残します。急斜面にはブドウ畑が広がり、展望台からはあべのハルカスを含む大阪の街並みと大和川を望むことができます。

自社農園で減農薬・有機肥料栽培するブドウは大阪府からエコ農産品として認定されています。ワイナリーの貯蔵庫は大正時代に建てられたもので、国の有形文化財に登録されています。大正昭和に使用されたワイン醸造用具（市指定文化財）などを展示するミュージアムになっており、カフェ&バー営業日に観覧することができます。

大正3年の創業から110年の歴史を重ね、西日本で現在最古のワイナリーとして活躍されているカタシモワイナリー様は「地産地消の事業」として、ぶどうの栽培からワイン作り、販売までの一貫体制を築かれており、新種のブドウ開発等に関しても熱心に取り組んでおられます。また「SDGs 事業」の方にも力を入れておりワインの売上の一部を都市緑化活動「OneGreen プロジェクト」に寄付されておられます。

現在は6代目となる女性醸造家が牽引し、老舗ながら先進的な取り組みを積極的におこなうワイナリーとして話題を集めておられますが、これまでの道のりは苦労の連続で、「ぶどう栽培を続けるよりも、マンションや駐車場にした方が儲かる」と、畑をつぶしてしまうぶどう農家が増え、ぶどう畑は市街地化されて衰退。醸造所もどんどん減ってしまっ時代が続いたそうです。事業継承に関しても大変ご苦勞されたとのこと。

ぶどうやワインを介して、地域やさまざまな業種の人々をつながりを持ちつつ、古い文化を継承することにも貢献しているカタシモワイナリーさん、ブドウ栽培風情溢れる古民家街やブドウ畑の散策、登録有形文化財の貯蔵庫見学に後、地元シェフ特性のフレンチ料理を頂きながら、5代目社長である高井利洋氏によるワインの説明、生き残りに関しての方法、SDGs, 地域貢献、相続問題等のお話を頂く事を企画しております。

非常に有意義な一日になると思いますので、期待して下さい。